

教員免許状更新講習事業の方法と 課題 —岐阜県の事例—

篠原 清昭

(岐阜大学教職大学院・教授)

表1. 予備講習の概要

区 分	講習の名称	開設日	会 場	摘 要
教職についての省察並びに子どもの変化、教育政策の動向及び学校の内外における連携協力についての理解に関する事項 (必修)	A 教育の最新事情	7月30日(水)・31日(木)	高山市教育研究所 3階多目的研修室 加茂高等学校3棟2階コンピュータ室 恵那高等学校 1階会議室	12時間(6H×2日間)加茂高、恵那高はテレビ会議システムによる遠隔講習
	A 教育の最新事情	8月4日(月)・5日(火)	岐阜大学講堂	
教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項 (選択)	B 国語	8月6日(水)・7日(木)・8日(金)	岐阜大学地域科学部1階11番教室	各教科18時間(6H×3日間)
	C 社会科(歴史)		岐阜大学地域科学部2階21番教室	
	D 数学		岐阜聖徳学園大学 教育学部7号館 7302教室	
	E 理科(生物)	8月11日(月)・12日(火)・13日(水)	岐阜大学教育学部 2階B201番教室	
	F 理科(災害・環境)		岐阜大学教育学部 5階A510番教室	
	G 英語	8月18日(月)・19日(火)・20日(水)	岐阜聖徳学園大学 教育学部7号館 7202教室	

図1. 必須講習(教育の最新事情)についての評価

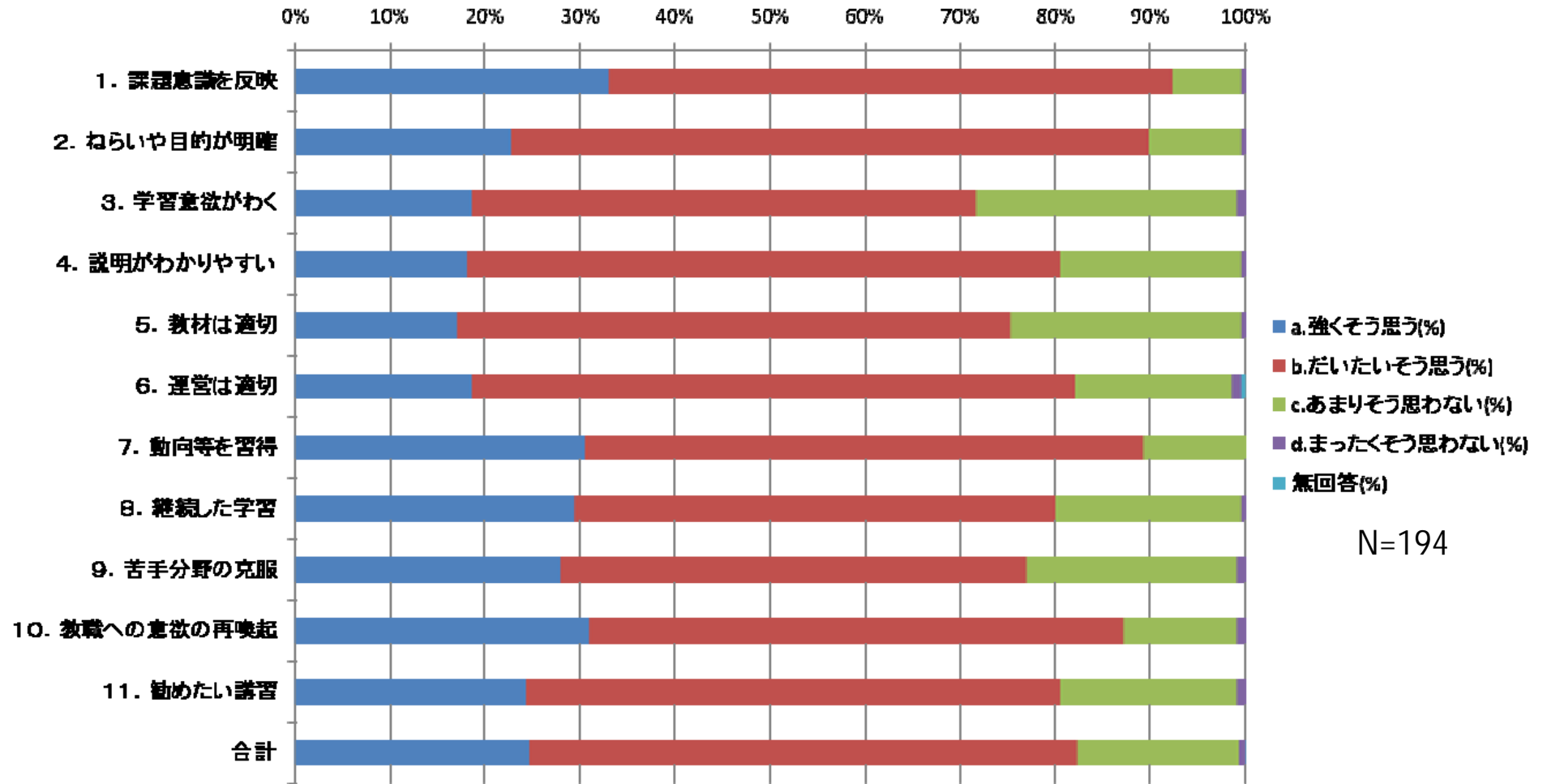


表2. 必須講習(教育の最新事情)についての評価

・各設問の回答割合(%)表

必須講習総合(割合)	a.強く思う(%)	b.だいたい思う(%)	c.あまりそう思わない(%)	d.まったくそう思わない(%)	無回答(%)
1. 課題意識を反映	33.0	59.3	7.2	0.5	0.0
2. ねらいや目的が明確	22.7	67.0	9.8	0.5	0.0
3. 学習意欲がわく	18.6	53.1	27.3	1.0	0.0
4. 説明がわかりやすい	18.0	62.4	19.1	0.5	0.0
5. 教材は適切	17.0	58.2	24.2	0.5	0.0
6. 運営は適切	18.6	63.4	16.5	1.0	0.5
7. 動向等を習得	30.4	58.8	10.8	0.0	0.0
8. 継続した学習	29.4	50.5	19.6	0.5	0.0
9. 苦手分野の克服	27.8	49.0	22.2	1.0	0.0
10. 教職への意欲の再喚起	30.9	56.2	11.9	1.0	0.0
11. 勧めたい講習	24.2	56.2	18.6	1.0	0.0
合計	24.60	57.64	17.01	0.70	0.05

・各設問の平均点数表

必須講習総合(点数評価)	平均得点
1. 課題意識を反映	1.17
2. ねらいや目的が明確	1.02
3. 学習意欲がわく	0.61
4. 説明がわかりやすい	0.78
5. 教材は適切	0.67
6. 運営は適切	0.82
7. 動向等を習得	1.09
8. 継続した学習	0.89
9. 苦手分野の克服	0.80
10. 教職への意欲の再喚起	1.04
11. 勧めたい講習	0.84
合計	0.884

a=2点、b=1点、c=-1点、d=-2点として算出

表3．必須講習(教育の最新事情)についての評価
各会場の評価比較

会場別得点評価比較	岐阜	高山	サテライト (恵那・加茂)
1．課題意識を反映	1.19	1.17	1.00
2．ねらいや目的が明確	1.06	0.93	0.80
3．学習意欲がわく	0.56	0.87	0.60
4．説明がわかりやすい	0.76	1.00	0.60
5．教材は適切	0.65	0.90	0.50
6．運営は適切	0.75	1.10	0.90
7．動向等を習得	1.13	1.17	0.65
8．継続した学習	0.87	1.03	0.80
9．苦手分野の克服	0.81	0.97	0.55
10．教職への意欲の再喚起	1.04	1.13	0.90
11．勧めたい講習	0.82	1.07	0.65
合計	0.876	1.030	0.723

a=2点、b=1点、c=-1点、d=-2点として算出

図2. 必須講習(教育の最新事情)についての評価
各会場の評価比較

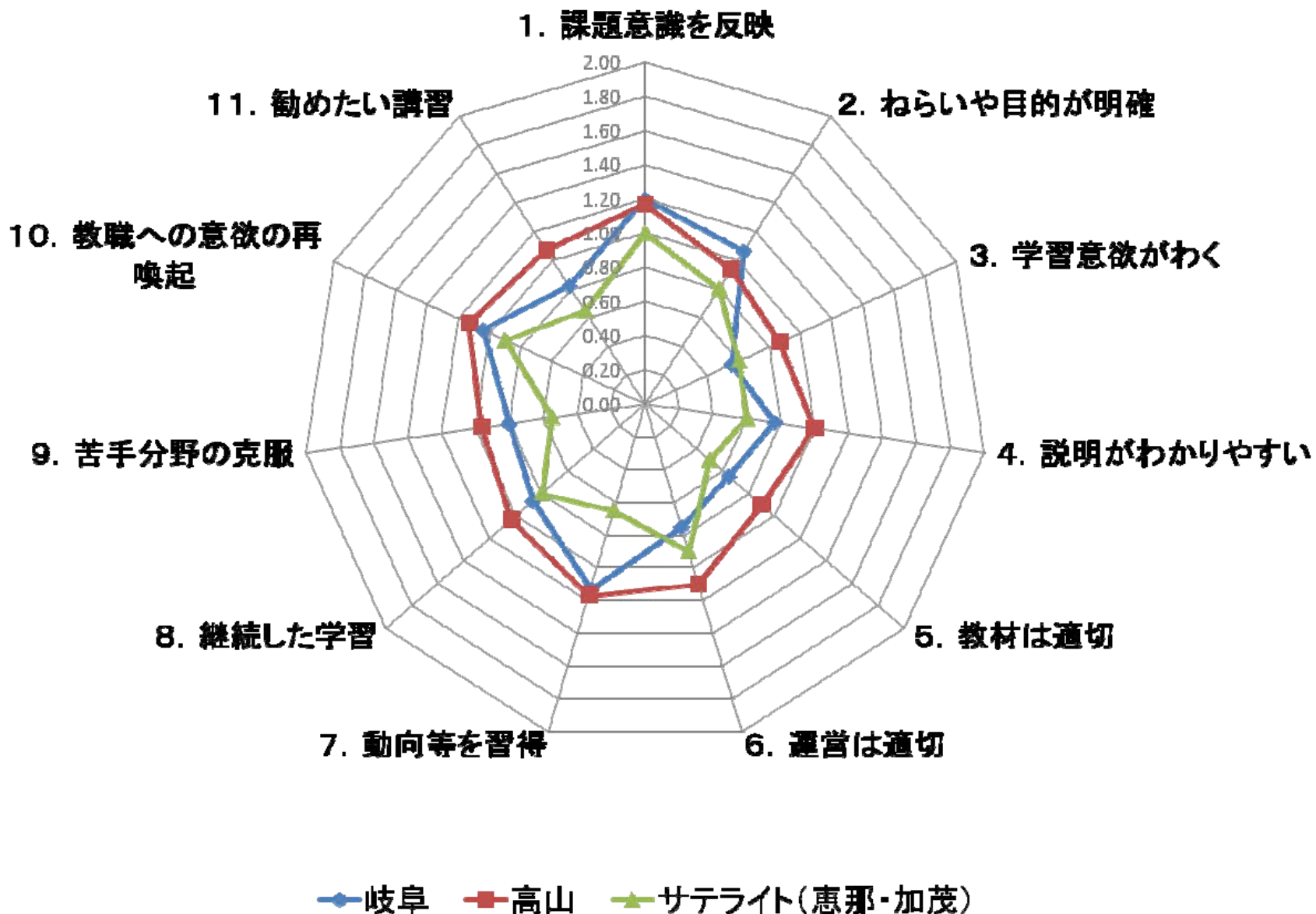


図3. 必修講習の評価得点比較

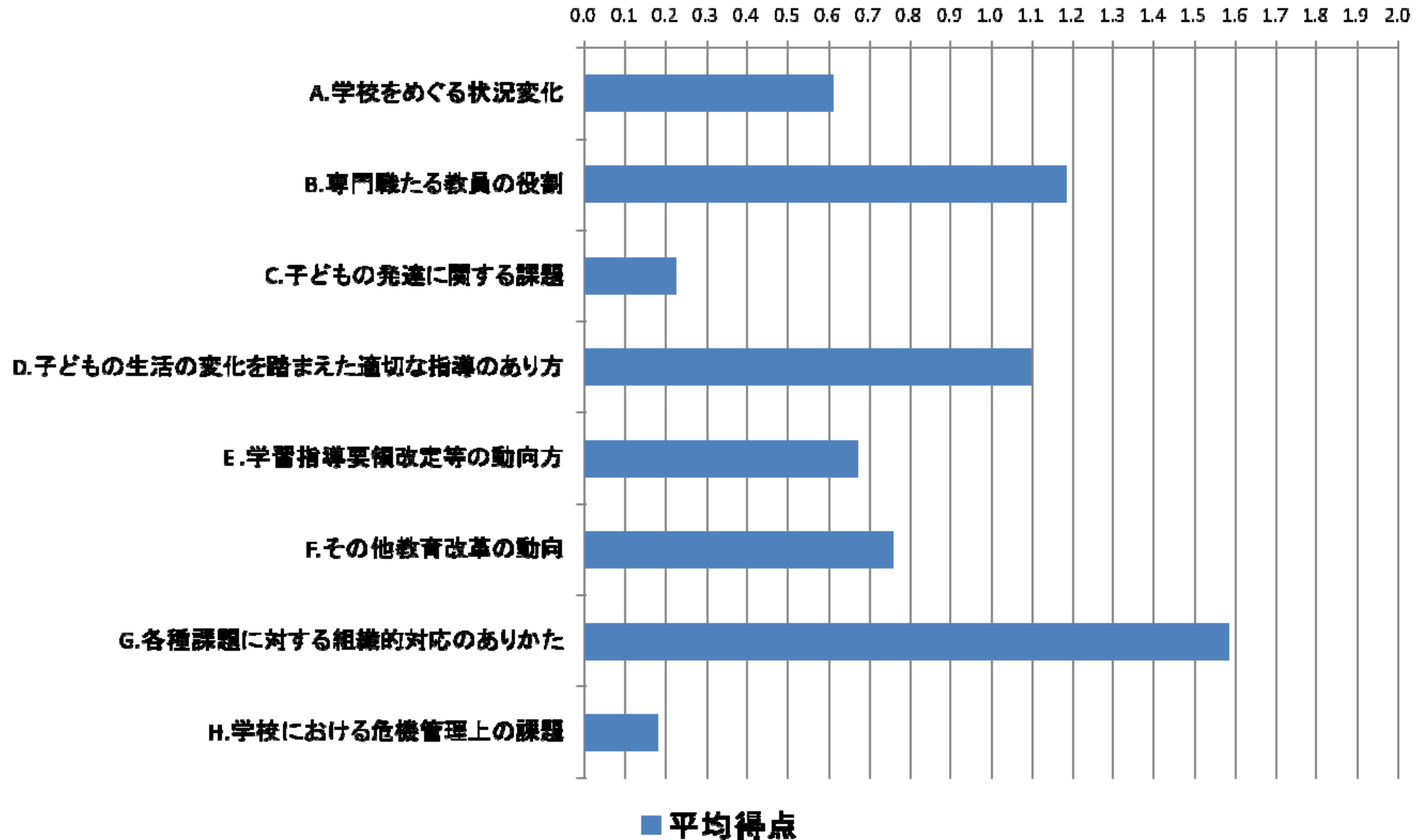


表4 . 必修講習の評価得点比較

各必修講習の評価得点比較	平均得点
A.学校をめぐる状況変化	0.610
B.専門職たる教員の役割	1.182
C.子どもの発達に関する課題	0.222
D.子どもの生活の変化を踏まえた適切な指導のあり方	1.097
E .学習指導要領改定等の動向方	0.672
F.その他教育改革の動向	0.756
G.各種課題に対する組織的対応のありかた	1.581
H.学校における危機管理上の課題	0.176

(a=2点、b=1点、c=-1点、d=-2点として算出)

図4. 選択講習についての評価

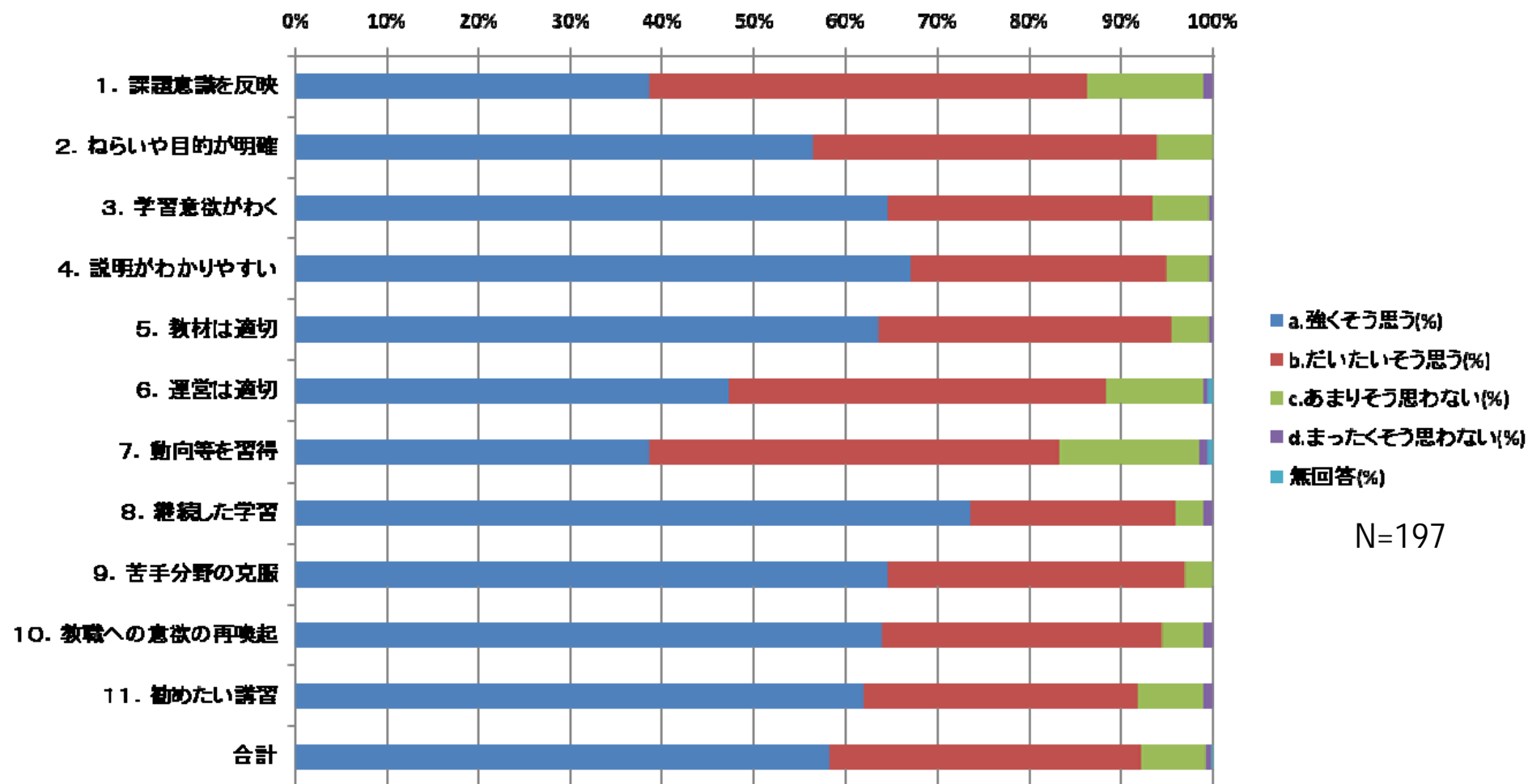


表5. 選択講習についての評価
各設問の回答割合と評価得点について

・各設問の回答割合(%)表

必須講習総合(割合)	a.強く思う(%)	b.だいたい思う(%)	c.あまりそう思わない(%)	d.まったくそう思わない(%)	無回答(%)
1.課題意識を反映	38.6	47.7	12.7	1.0	0.0
2.ねらいや目的が明確	56.3	37.6	6.1	0.0	0.0
3.学習意欲がわく	64.5	28.9	6.1	0.5	0.0
4.説明がわかりやすい	67.0	27.9	4.6	0.5	0.0
5.教材は適切	63.5	32.0	4.1	0.5	0.0
6.運営は適切	47.2	41.1	10.7	0.5	0.5
7.動向等を習得	38.6	44.7	15.2	1.0	0.5
8.継続した学習	73.6	22.3	3.0	1.0	0.0
9.苦手分野の克服	64.5	32.5	3.0	0.0	0.0
10.教職への意欲の再喚起	64.0	30.5	4.6	1.0	0.0
11.勧めたい講習	61.9	29.9	7.1	1.0	0.0
合計	58.14	34.10	7.01	0.65	0.09

・各設問の平均点数表

選択講習総合(点数評価)	平均得点
1.課題意識を反映	1.10
2.ねらいや目的が明確	1.44
3.学習意欲がわく	1.51
4.説明がわかりやすい	1.56
5.教材は適切	1.54
6.運営は適切	1.24
7.動向等を習得	1.05
8.継続した学習	1.64
9.苦手分野の克服	1.58
10.教職への意欲の再喚起	1.52
11.勧めたい講習	1.45
合計	1.421

a=2点、b=1点、c=-1点、d=-2点として算出

図5. 選択講習についての評価
各選択講習の評価得点比較

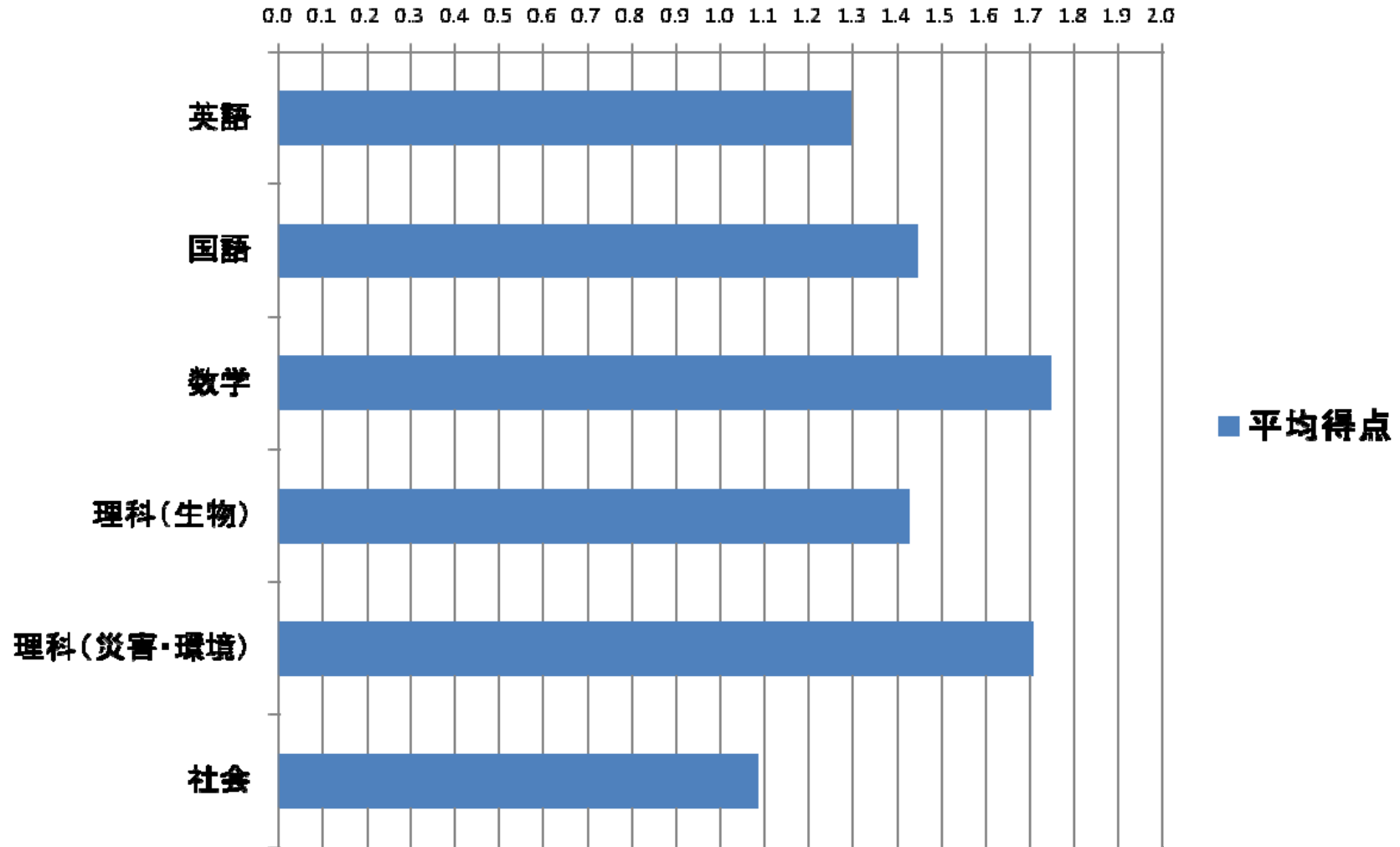


表6. 選択講習についての評価
各選択講習の評価得点比較

選択講習名	平均得点
英語	1.297
国語	1.443
数学	1.748
理科(生物)	1.424
理科(災害・環境)	1.705
社会	1.082

(a=2点、b=1点、c=-1点、d=-2点として算出)

図6. 選択講習についての評価
各選択講習の評価得点比較(レーダー図)

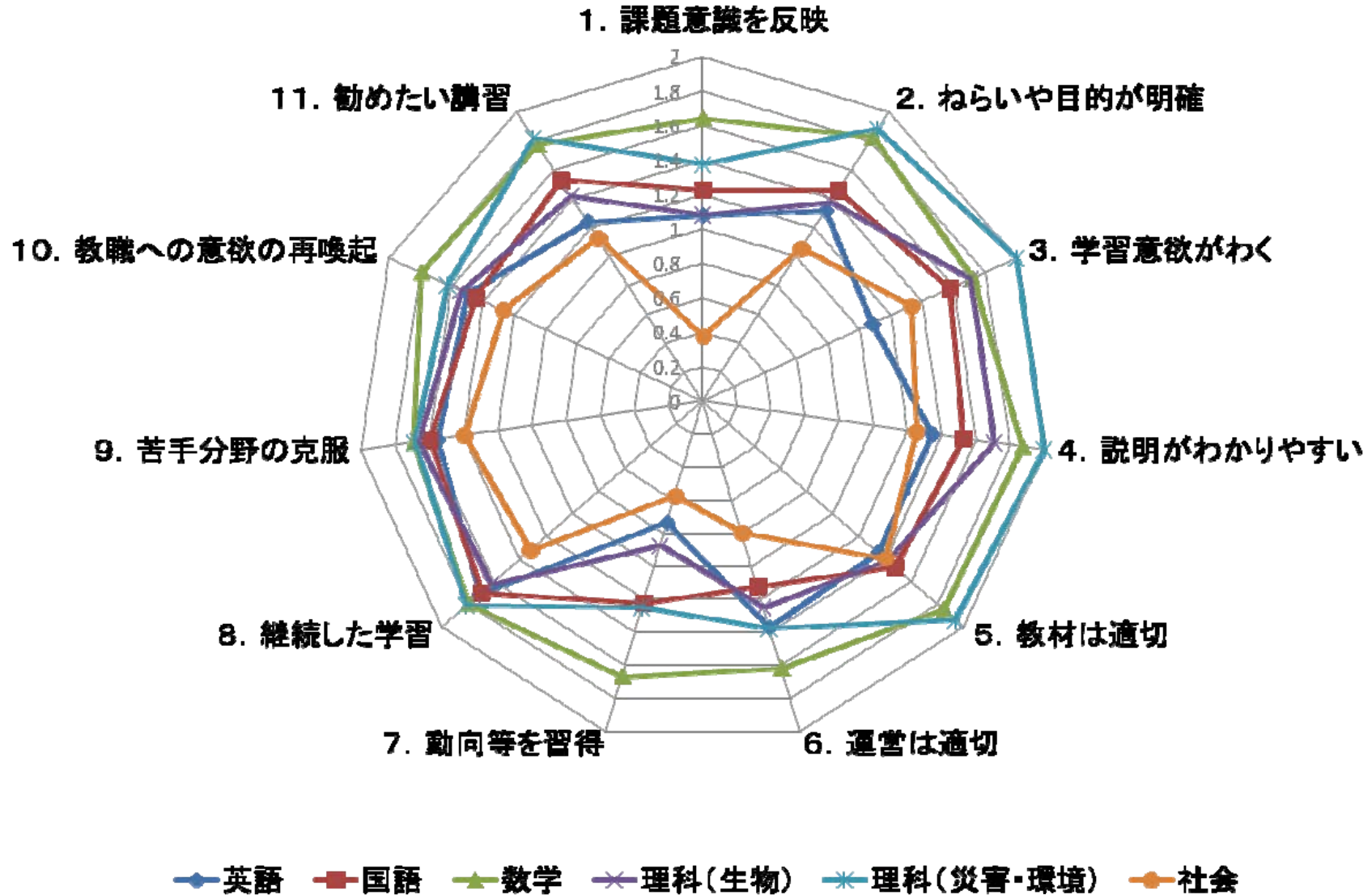


表7. 必須講習と選択講習の比較

必須・選択の比較(得点)	必須講習	選択講習
1. 課題意識を反映	1.170	1.102
2. ねらいや目的が明確	1.015	1.442
3. 学習意欲がわく	0.608	1.508
4. 説明がわかりやすい	0.784	1.563
5. 教材は適切	0.670	1.538
6. 運営は適切	0.820	1.239
7. 動向等を習得	1.088	1.046
8. 継続した学習	0.887	1.645
9. 苦手分野の克服	0.804	1.584
10. 教職への意欲の再喚起	1.041	1.518
11. 勧めたい講習	0.840	1.447
合計	0.884	1.421

(a=2点、b=1点、c=-1点、d=-2点として算出)

図7. 必須講習と選択講習の比較

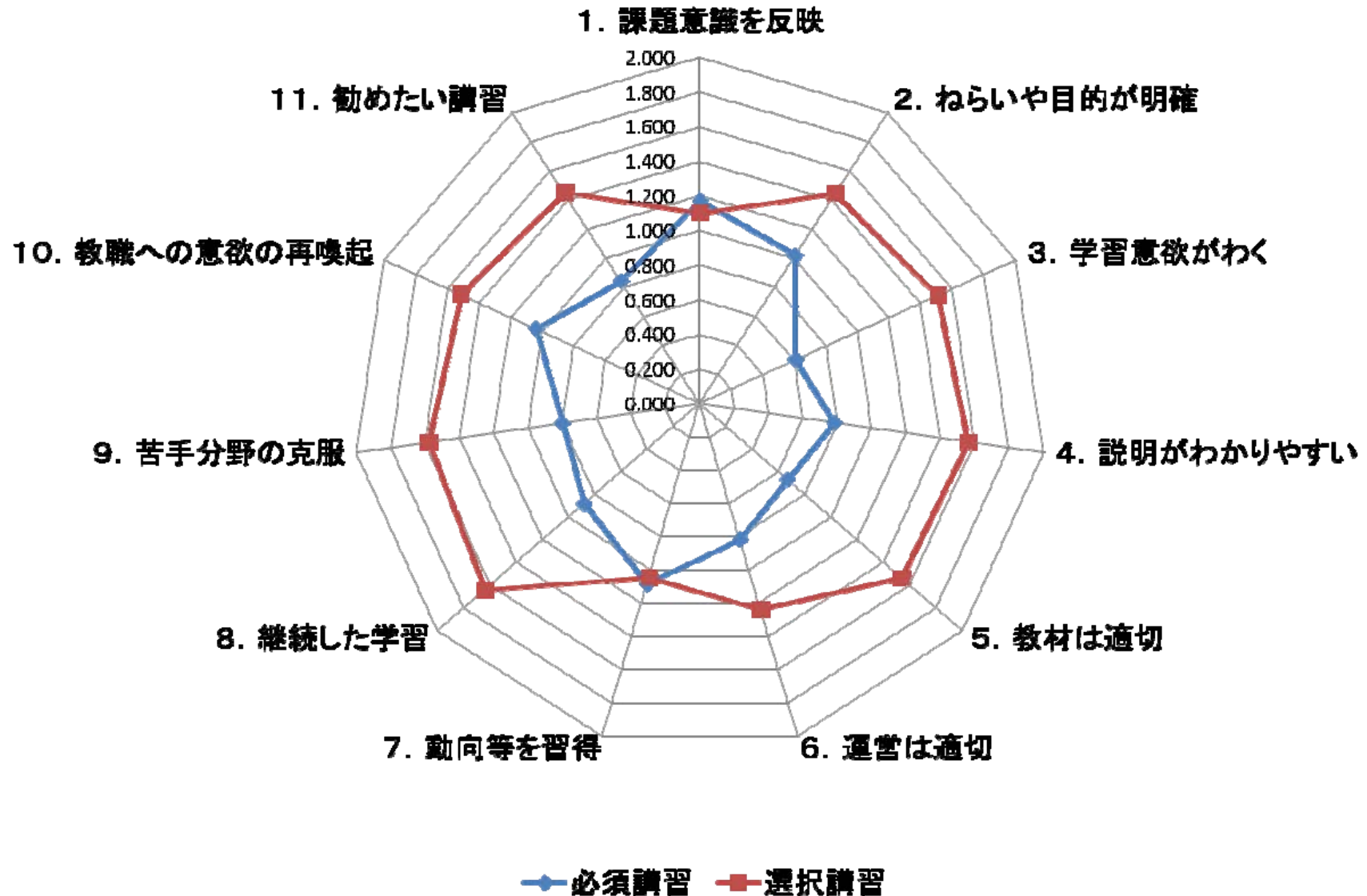


図8. 教員免許状更新講習事業コンソーシアムの目的

- 講習講座数の確保(主に12時間講習)
- 講習内容の水准确保
- 講習講師の指導力量の水准确保

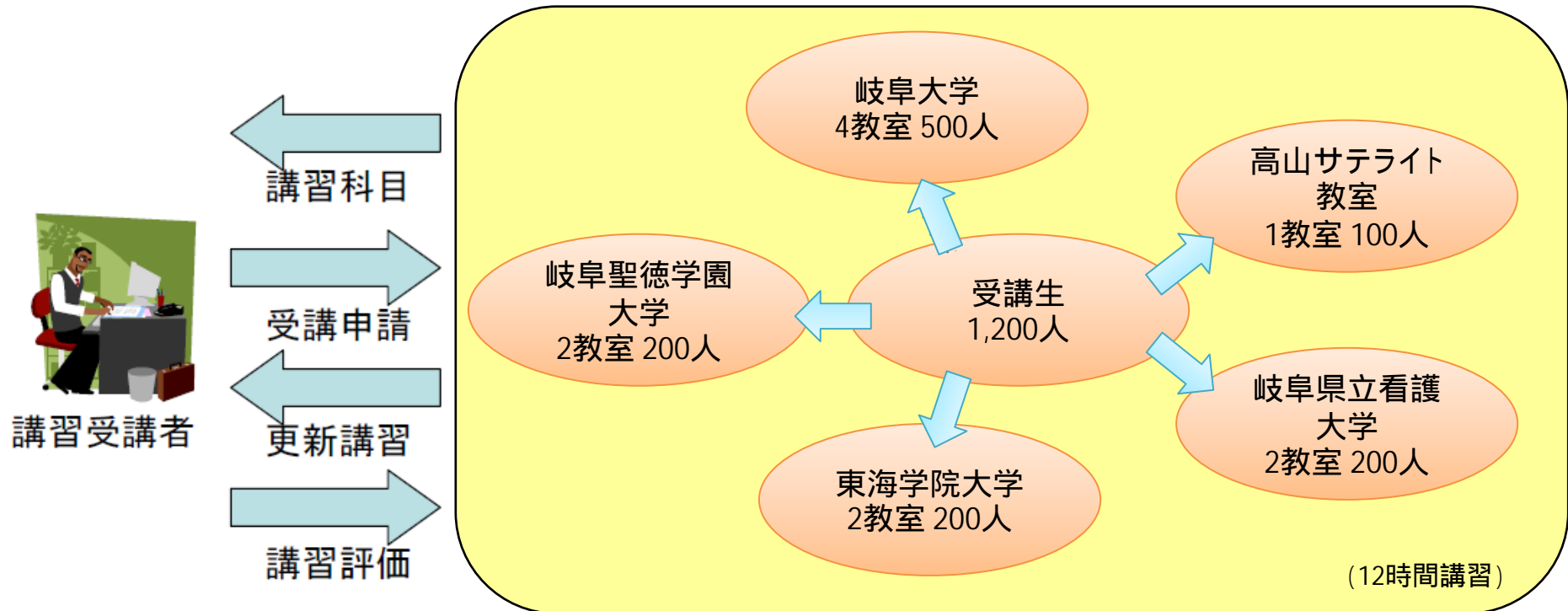


図9. 教員免許状更新講習コンソーシアムのシステム

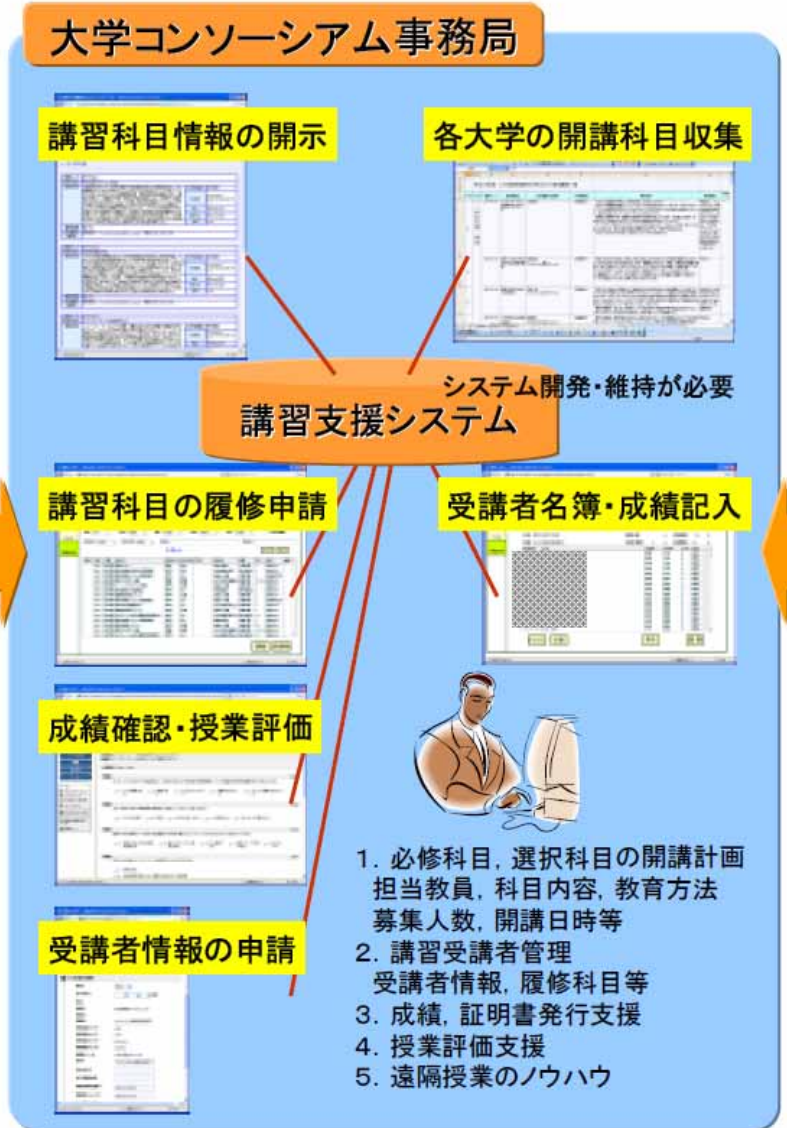
講習受講者

講習科目の一元的提供
 ・コンソーシアムの一覧
 ・受講申請
 ・成績確認
 ・本人情報の登録
 Webの利用
 ・自宅や職場から利用
 ・随時利用



受講に関する負担軽減
 窓口の一元化
 遠隔授業等の支援

教育委員会
 実施協力の体制
 受講者への案内



県内大学

教員免許更新講習参加大学

講習科目の開講計画
 講習科目の課程認定
 講習科目の登録
 講習科目の実施
 成績評価
 等



大学間での共同実施体制
 重複業務の整理
 豊富な講習科目



図10. 教員免許状更新講習コンソーシアムの手続き

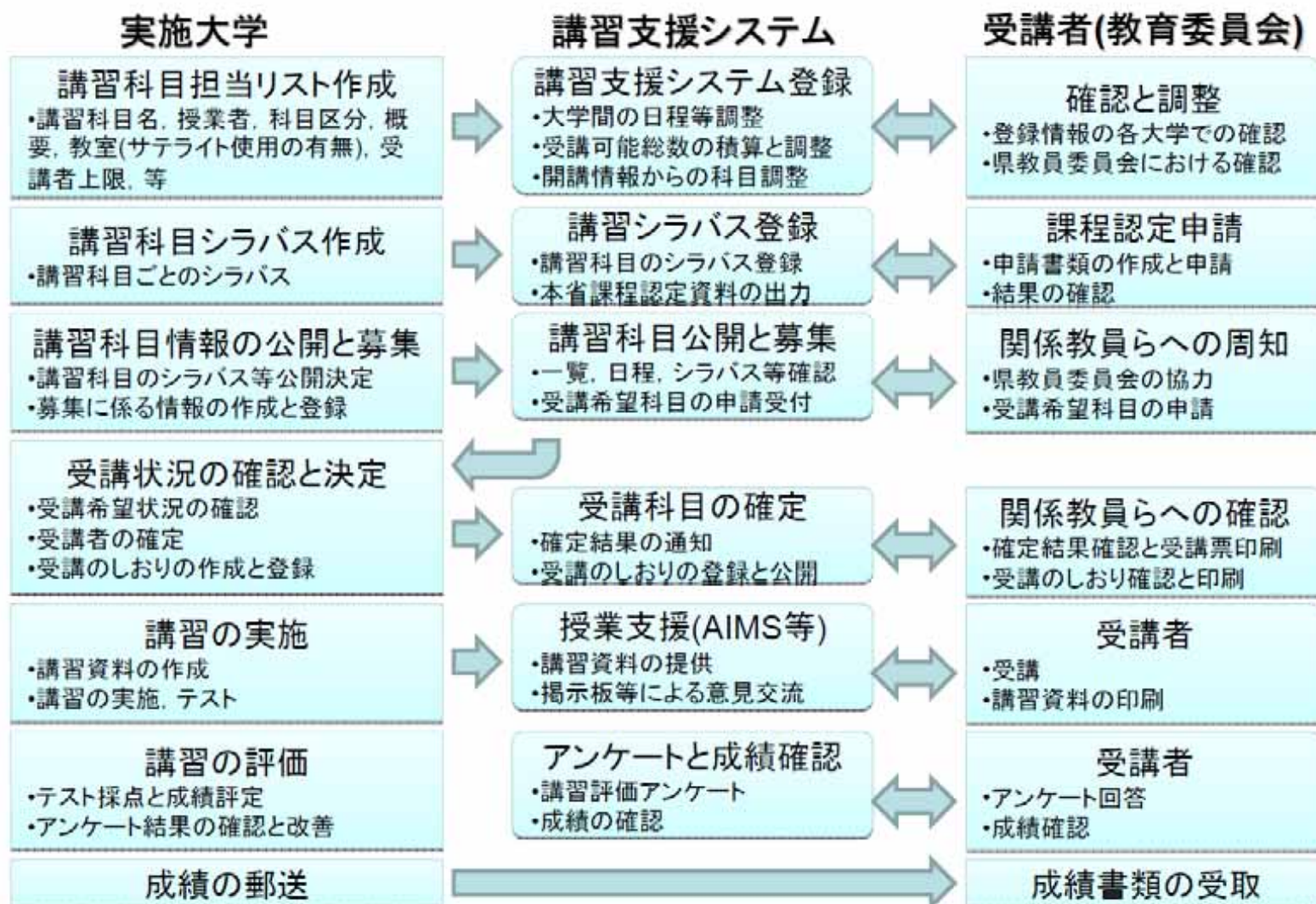


表8. 教員免許状更新講習講師編制(必須科目)

細目	講師			計
	研究者	実務家教員		
		校長	教育委員会	
A.学校をめぐる状況変化	2	3	2	7
B.専門職たる教員の役割	5	0	3	8
C.子どもの発達に関する課題	12	1	1	14
D.子どもの生活の変化を踏まえた適切な指導のあり方	4	3	1	8
E.学習指導要領改定等の動向方	4	2	1	7
F.その他教育改革の動向	3	1	3	7
G.各種課題に対する組織的対応のありかた	3	0	4	7
H.学校における危機管理上の課題	3	0	4	7
計	36	10	19	65

図11. 教員免許更新講習会場のイメージ(必須科目)

岐阜大学	岐阜聖徳学園 大学	東海学院大学 (短大部を含む)	岐阜県立 看護大学	高山教室
100人 (小学校)	100人 (高校)	100人 (幼稚園)	100人 (養護)	100人 (全教諭)
100人 (小学校)	100人 (高校)	100人 (小学校)	100人 (特)	
100人 (小学校)				
100人 (中学校)				
100人 (中学校)				

図12. 教員免許状更新講習講師割振りのイメージ

4教室のパターン

	1教室	2教室	3教室	4教室
1 目	オリエンテーション			
	A	D	C	B
	B	A	D	C
	C	B	A	D
	D	C	B	A
2 目	E	H	G	F
	F	E	H	G
	G	F	E	H
	H	G	F	E
	試験・アンケート			

2教室のパターン

	1教室	2教室
1 目	オリエンテーション	
	A	B
	B	A
	C	D
	D	C
2 目	E	F
	F	E
	G	H
	H	G
	試験・アンケート	

1教室のパターン

	1教室
1 目	オリエンテーション
	A
	B
	C
	D
2 目	E
	F
	G
	H
	試験・アンケート